

■ 大阪ナンバーワンの学問所であり、関西大学の知的ルーツ ■

はくえんしよいん

「泊園書院」開設 200 周年記念シンポジウムを開催

【日時】10 月 24 日(金)、25 日(土)13:00～17:00 【場所】関西大学梅田キャンパス 8 階

関西大学ではこのたび、泊園書院の開設 200 周年にあたり、10 月 24 日(金)、25 日(土)13:00～17:00 に梅田キャンパスにて、吾妻重二氏(関西大学文学部教授・泊園記念会会長)、高山大毅氏(東京大学大学院総合文化研究科准教授)らが登壇して、記念シンポジウムを開催します。また、10 月 20 日(月)から 11 月 15 日(土)までは関西大学総合図書館にて、泊園書院に関する重要な資料を集めた特別展示も行います。

本件の ポイント

- ・大阪ナンバーワンの学問所「泊園書院」開設 200 周年を記念しシンポジウムおよび特別展示を開催
- ・大阪のみならず日本の近代化の発展に寄与した泊園書院についてビデオを初上映し、有識者と討議
- ・泊園書院の歴史を示す資料や印章(篆刻)などを期間限定で特別展示

江戸期の大阪には、藩校がなかった代わりに私塾や心学講舎、寺子屋が数多く設けられました。その中心の 1 つとなったのが、文政 8 年(1825)に藤澤東咳(とうがい)によって開設された泊園書院です。その後、藤澤南岳(なんがく)、藤澤黄鵠(こうこく)、藤澤黄坡(こうは)の院主および石濱純太郎によって維持・発展し、「大阪ナンバーワン」の学問所として各界に人材を輩出し大阪と日本の発展を支えました。外務大臣の陸奥宗光、武田薬品株式会社創業者の武田長兵衛氏らはいずれも当書院の塾生です。「泊園」は「さっぱりとした静かな心で学問する学び舎」の意、「書院」は「私塾」を意味します。



■ 泊園書院と関西大学との深いつながり

泊園書院第 4 代院主で本学最初の名誉教授藤澤黄坡の死去により、泊園書院は幕を閉じましたが、黄坡の長男藤澤恒夫と義弟で本学文学部教授だった石濱純太郎の尽力により、泊園書院の蔵書や収蔵品が本学に「泊園文庫」として一括寄贈されました。泊園文庫は漢籍を中心とする近世大阪文化の一大コレクションです。

この寄贈をきっかけに、学内に本学初の本格的附置研究所「東西学術研究所」の創設、学術を受け継ぐ「文学部東洋文学科(現アジア文化専修)」の開設がなされました。また「泊園記念会」も設立されるなど、本学は泊園書院の伝統を受け継ぎながら学問・教育の発展に取り組んでいます。泊園書院は関西大学の知的ルーツの一つでもあるのです。

< 「①泊園書院開設 200 周年記念シンポジウム」および「②特別展示」の概要 >

【日時】①10 月 24 日(金)、25 日(土)13:00～17:00

②10 月 20 日(月)～11 月 15 日(土)9:00～17:00

【場所】①関西大学梅田キャンパス 8 階大ホール ②関西大学千里山キャンパス総合図書館展示室

【内容】①近世近代から現代にいたる大阪の学問の伝統をテーマとして泊園書院を中心に講演や討議(泊園書院ビデオ上映、基調講演、対談、研究発表、銘菓「南岳」の進呈 等)

②泊園記念会および関西大学が所蔵する泊園書院の歴史を示す重要資料等を特別展示

【泊園書院ホームページ】 <https://www.kansai-u.ac.jp/hakuen/>

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

プログラム詳細は次ページを参照

取材に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：明原、伊地知、小林

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

day 1 10/24 金 13時～17時



泊園書院ビデオ上映・ 銘菓「南岳」の紹介

吾妻 重二(泊園記念会会長・関西大学文学部教授)

銘菓「南岳」



基調講演「徂徠研究の大先輩——泊園書院と徂徠学」

高山 大毅(東京大学大学院総合文化研究科准教授)

泊園書院の初代院主の藤澤東咳は、徂徠学が流行遅れになっていた時代にあっても、荻生徂徠に対する深い敬慕の念を抱き、徂徠の著作や事跡について研究しました。本講演では、東咳の徂徠研究が現在の徂徠研究にどのような示唆を与えてくれるのかをお話し、泊園書院の学問をどのように継承すべきかについて考えてみたいと思います。



七弦琴(古琴)の演奏

演奏曲目: 琴歌「帰去来辞」「三才引」「漁樵問答」

山寺 美紀子(関西大学東西学術研究所非常勤研究員)

東咳や南岳が愛した古琴曲を復元して演奏します。泊園書院の持つ文雅な世界をお楽しみください。



対談「大阪の私塾がはぐくんだ知の力 ——泊園書院の学びとは」

高山 大毅(東京大学大学院総合文化研究科准教授)

藪田 貫(泊園記念会名誉会長・関西大学名誉教授)

大阪に興った学問所・泊園書院の学びとはどのようなものだったのか、その意義や魅力について語ります。



「毛西河・朱竹垞二先生小照」(部分)



羽倉可亭作組印



富岡鉄斎「泰山図」

day 2 10/25 土 13時～17時

研究発表①

「教育勅語」の漢訳とその思想的文脈
——藤澤南岳、そして重野安繹——

橋本 昭典(奈良教育大学教育学部教授)

研究発表②

藤澤東咳「楊雄從王莽論」について

榎木 亨(浙江外国語学院東方語言文化学院講師)

研究発表③

田中右馬三郎『大阪繁昌詩』とその周辺

松井 真希子(奈良工業高等専門学校准教授)

研究発表④

藤澤桓夫の文学活動

増田 周子(関西大学文学部教授)

研究発表⑤

藤澤南岳と宇和島出身者との
交流について

佐賀 香織(法政大学大学院政策科学研究所特任研究員)

研究発表⑥

香川における泊園関係者顕彰の
現状と課題

田山 泰三(英明高等学校)

研究発表⑦

香川で収集された藤澤家の書蹟
——花待草舎コレクション——

太田 剛(四国大学文学部教授)

第1部

13:00

15:00

第2部

15:15

16:45

記念特別展示

10/20 日 → 11/15 土 開館時間: 9時～17時

関西大学千里山キャンパス
総合図書館 展示室(南側エントランス横)

泊園記念会及び関西大学総合図書館が所蔵する泊園書院の歴史を示す重要な資料や印章をピックアップし、関係資料をあわせて展示します。展示を通じて、大阪の地で興った大私塾泊園書院を身近に感じていただければ幸いです。